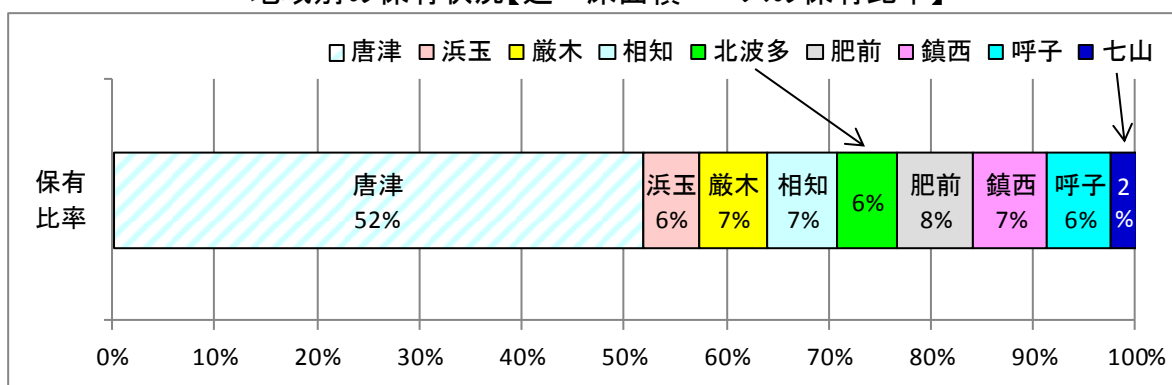


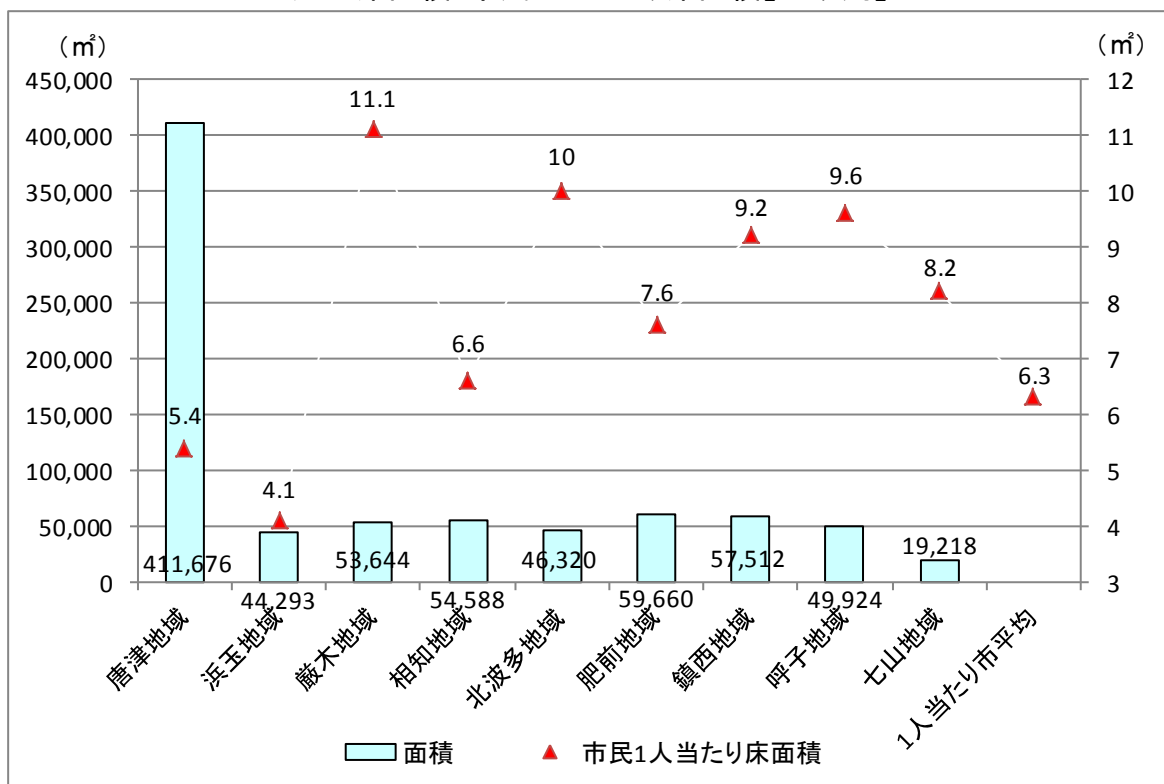
### 第3章 地域毎の現状と課題

地域別に公共建築物の保有状況を見ると唐津地域が最も多く全体の半数以上を占め、その他では、最も少ない七山地域以外の地域はほぼ同じような保有比率となっています。また、市民1人当たりの床面積では、浜玉地域が4.1㎡と最も低く、厳木地域が11.1㎡と最も高くなっています。

地域別の保有状況【延べ床面積ベースの保有比率】



延べ床面積・市民1人当たり床面積【地域別】



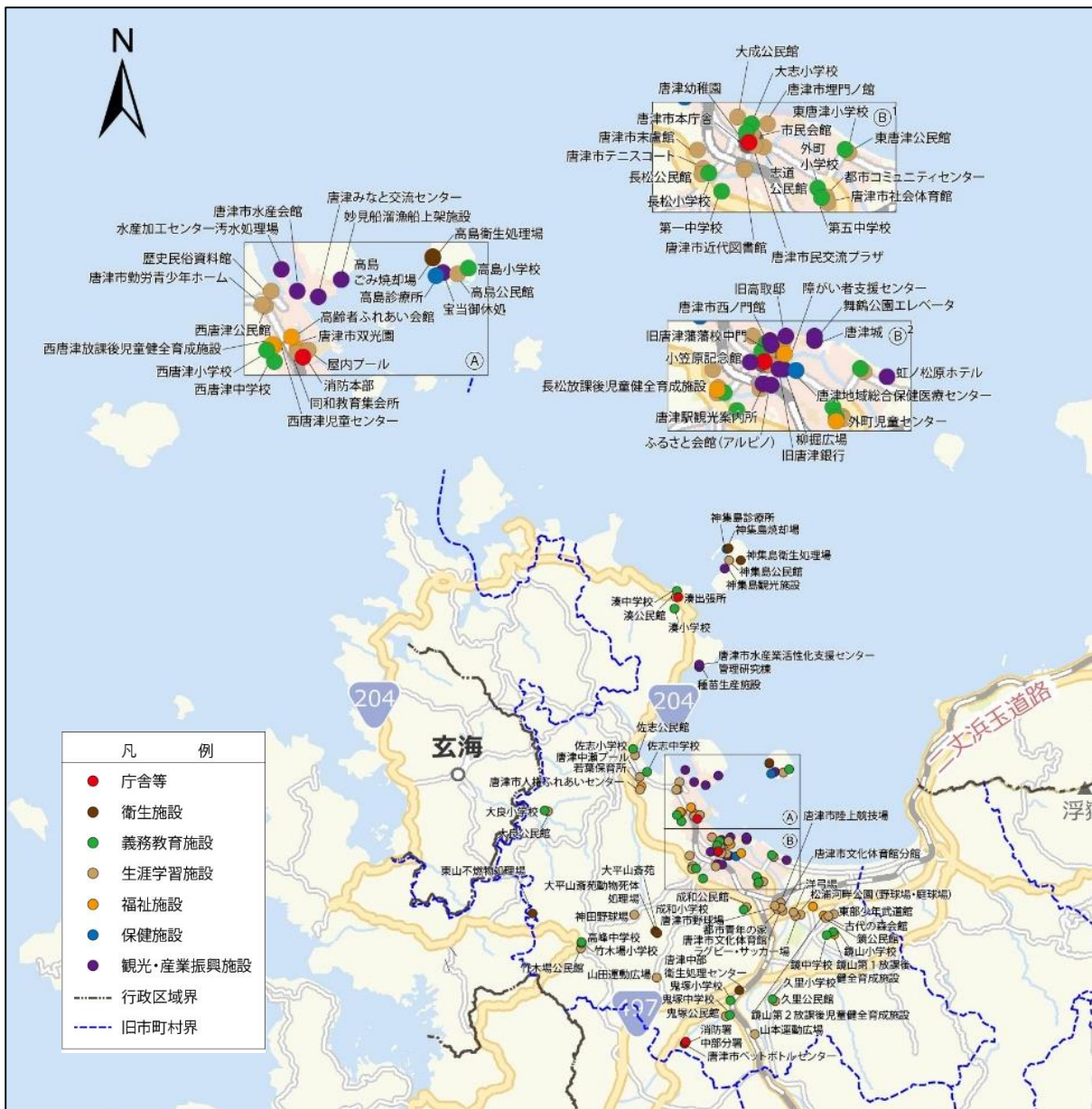
※市民1人当たりの床面積は、H22年の国勢調査の人口で算出している。

# 1 唐津地域

唐津地域には、全地域で最も多い91施設が配置されています。

| 施設種類 | 庁舎等 | 衛生施設 | 義務教育施設 | 生涯学習施設 | 福祉施設 | 保健施設 | 観光・産業振興施設 | 合計 |
|------|-----|------|--------|--------|------|------|-----------|----|
| 施設数  | 4   | 3    | 23     | 35     | 10   | 3    | 13        | 91 |

## 【施設の配置状況（位置図）】

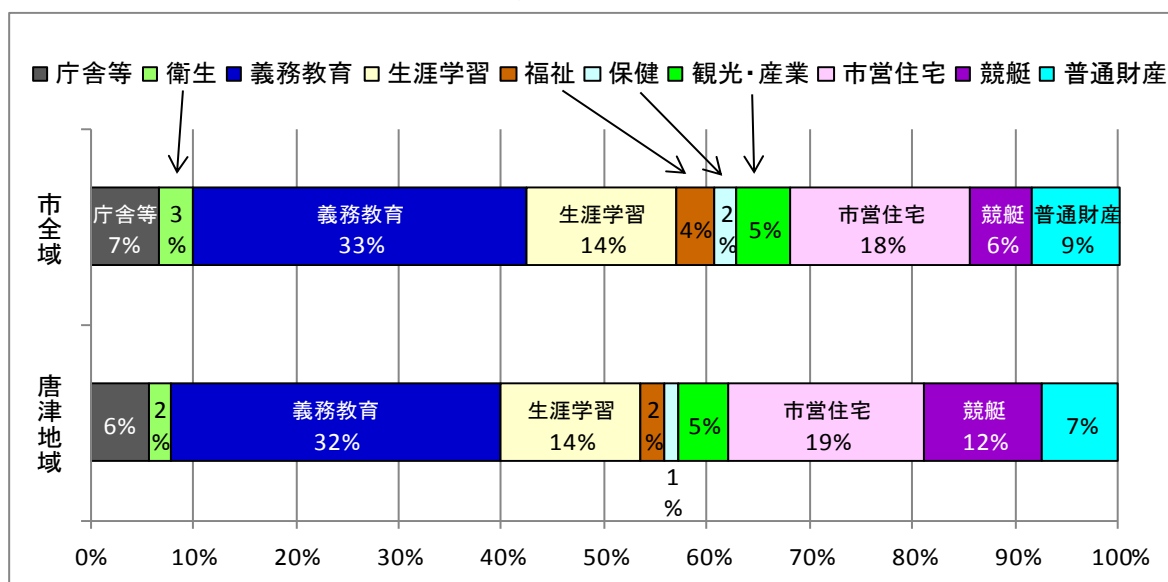


## (1) 唐津地域の現状

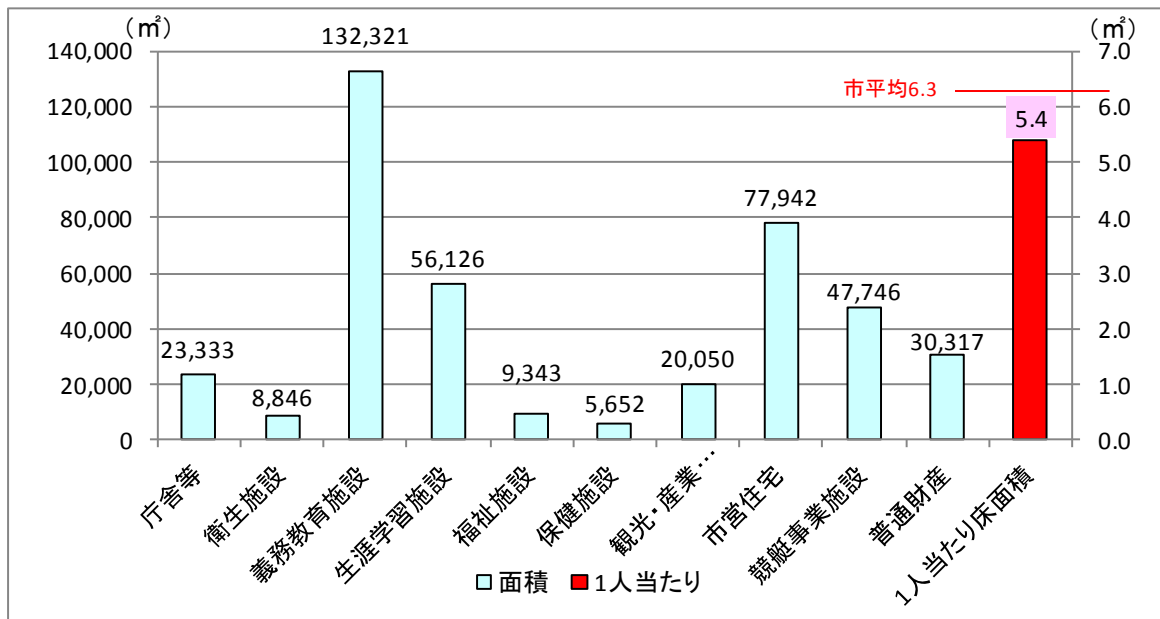
唐津地域は施設の地域別の保有比率が52%と高いこともあり、施設別の延べ床面積ベースの保有比率は市全域と似たような構成となっています。その中で最も高いのは、義務教育施設32%であり、次に高い市営住宅19%と合わせると半数以上となります。

市民1人当たりの床面積では、地域別で2番目に低く、市平均よりも低い値となっています。

施設別の延べ床面積ベースの保有比率【唐津地域】



施設別の延べ床面積・市民1人当たりの床面積【唐津地域】



## (2) 唐津地域の課題

本地域には唐津市本庁舎がありますが、本庁舎は老朽化が進行していることから、大規模改修若しくは更新を検討する必要があります。

地域の公共施設の約3割を占める義務教育施設は、少子化による児童数減少に伴い、生徒数が減少している小学校があります。これら義務教育施設は老朽化が進行している施設もあることから、統廃合なども視野に入れて検討する必要があります。

生涯学習施設のうち公民館は、高島や神集島の離島では利用者が少なく利用者1人当たりの維持管理費が高い状況であることから、既存施設を更新する際などには施設の複合化などを検討する必要があります。

地域に4箇所ある放課後児童健全育成施設は、全ての施設の利用者が少なく利用者1人当たりの維持管理費が高いことから、民間活用など運営方法を含めた施設のあり方の検討が必要です。